

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

グループビジョン

際立つ技術と品質により、「住・社会のインフラ創造」と「ケミカルソリューション」のフロンティアを開拓し、世界のひとびとの暮らしと地球環境の向上に貢献

連結売上高
14,100億円

営業利益率
8.2%

ROE
11.0%

GHG削減率
50%

2 中長期の経営戦略

1. 長期ビジョン「Vision 2030…

レジデンシャル・アドバンストライフライン・イノベーションモビリティ・ライフサイエンスの4領域で2030年業容倍増を狙う

2. 戦略的創造

新事業領域の創出に向け、ペロブスカイト太陽電池・CO2固定化・バイオリファイナリー技術の社会実装を推進

3. 現有事業強化

既存事業の着実な成長とポートフォリオの磨き上げにより持続的成長を実現

4. ESG経営基盤強化

中期550億円の強化費を投資し、リスク軽減・DX・人材・環境の経営基盤を強化

3 対処すべき課題

① 気候変動への対応

- ・ 2030年Scope1+2で50%削減、Scope3で30%削減（基準年2019年度）
- ・ 購入電力の再エネ比率を70%に高める
- ・ 燃料転換・生産プロセス革新による難易度高い削減を推進

② 資源循環の実現

- ・ 廃プラスチックのマテリアルリサイクル率（国内）65%を目指す
- ・ 再生可能・バイオマス由来原料への転換を加速
- ・ 2050年サーキュラーエコノミーの実現を目標

③ 人材確保と活力ある組織構築

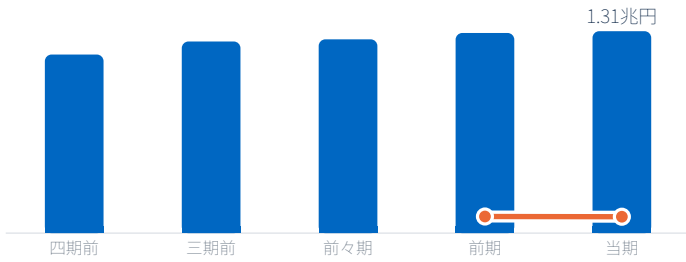
- ・ 挑戦する風土の醸成と人材公募によるチャレンジ機会提供
- ・ 後継者候補の認定・育成と高度専門人材確保
- ・ ダイバーシティ推進と働き方改革・健康経営の実施

面接で使えるポイント

- ・ 3S精神（Service・Speed・Superiority）のもと、約2万7千名で社会的価値創造に取り組んでいる
- ・ 2030年の業容倍増に向け、4事業領域でイノベーションを起こし「未来につづく安心」を実現
- ・ 2030年GHG排出50%削減（Scope1+2基準年2019年度）、2050年サーキュラーエコノミー実現を目指す

証券コード 4204

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.31兆円営業利益率
8.1%財務健康度
60点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 65.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
946万円

化学内 12位/204社

平均年齢
44.2歳

化学内 45位/204社

平均勤続
15.9年

化学内 108位/204社

女性管理職
5.7%

化学内 100位/173社

男性育休
93.3%

化学内 57位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

